

**escura**  
acoustic

## 取扱説明書

# sensation50

真空管レコードプレーヤー



### 【製品仕様】

- カートリッジ：ムービングマグネット
- カウンターウェイト：3g（推奨）
- 回転数：33/45rpm
- 周波数応答：20Hz - 20kHz
- 出力電力：15W×2、20W×1
- オーディオ出力：RIAA イコライザレベル
- 真空管：6SN7 双三極管
- Bluetooth：Bluetooth 5.0
- 電源入力：20V DC  
(専用電源アダプター 100V AC)

- 本体質量：10kg
- 寸法本体：W440×D400×H193mm  
(スモールレッグ取付け時) W440×D400×H216mm  
(ロングレッグ取付け時) W440×D400×H572mm

この仕様は、改良などのために予告なく変更することがございます。

エスクーラ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

**ご使用になる前に、この取扱説明書をお読みください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。**

取扱説明書はお使いになられる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。

「保証書」は内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

### 同梱物

本体 .....	1台	スモールレッグ ..	4個
ACアダプター ...	1本	ロングレッグ ....	4本
真空管 .....	1本	取扱説明書/保証書	・ 1枚
レコード針 .....	1本		

## 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください。

お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために必ずお守りいただく注意事項を説明しています。安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

誤った使い方をした時に生じる危険や損害の程度を以下の表示で区分して説明しています。

	<b>警告</b>	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があるものを示しています。
	<b>注意</b>	誤った取扱いをすると、人が傷害を負うまたは物的損害が発生する可能性があるものを示しています。

### 図記号の説明

	△記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
	⊘記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

## 安全上のご注意

 **警告** 誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があるものを示しています。

- 万一、異常が起きたら
- 変なおいや音がするとき
- 内部に水や異物等が入ったとき
- 本機を落としたりカバーを破損したとき



すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店またはサービスステーションにご相談ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

- 電源コードを傷つけない
- 電源コードを破損したまま使わない
- 電源コード上に重いものをのせたり、本機の下敷きにしたり、敷物などで覆わない
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり引っ張ったりしない
- 電源コードに熱いものを近づけない
- 電源電圧(交流100ボルト50/60 Hz)以外の電圧で使用しない



コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。万一、電源コードが破損(芯線の露出、断線など)したら、使用を止め販売店またはサービスステーションにご相談ください。

- 機器に水をいれたり、濡らさない
- 風呂場や屋外等では使用しない
- 機器の上に花瓶や水、薬品などが入った容器を置かない



火災・感電の原因となります。

 **注意** 誤った取扱いをすると、人が傷害を負うまたは物的損害が発生する可能性があるものを示しています。

- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かない
- 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



- 本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かない
- 火災や感電の原因となることがあります。



- テレビ、オーディオ機器、スピーカーに機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明書に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。



- 電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



- 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災、感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。





**警告** 誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があるものを示しています。

- 船舶などの直流(DC)電源には接続しない

火災の原因となります。  
この機器を使用できるのは日本国内のみです。



禁止

- 機器の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない

ください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。



禁止

- 機器の外装を外さない  
機器の分解・改造したりしない

内部には電圧の高い部分があり、火災、感電の原因となります。内部の点検・整備修理は販売店またはサービスステーションにご相談ください。



禁止

- 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れない



禁止



**注意** 誤った取扱いをすると、人が傷害を負うまたは物的損害が発生する可能性があるものを示しています。

- 移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災 感電の原因となることがあります。



電源プラグを  
コンセントから抜く

- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。



禁止

- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



禁止

- 旅行などで長期間、ご使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



電源プラグを  
コンセントから抜く

- お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

## 設置についてのご注意

次の様な場所での設置は避けてください。

### 1 傾斜のある場所や不安定な場所

- 機器が傾いていると「音がひずむ」、「トーンアーム(針)がレコードの上をすべる」などの原因となります。
- 機器外部からの振動が伝わると「音がとぶ」、「音がふるえる」、「ハウリング(スピーカーからウォーン、ポコポコという音が出る)」などの原因となります。
- 歪みが生じたり転倒したりして、機器等の破損またはケガの原因となり危険です。また、ダストカバーの開閉に影響が生じる場合があります。

### 2 テレビ・ラジオ・コンピューターなどの電子機器や精密機器の近く

- 電氣的な原因や振動・受信障害などにより雑音などが発生したり音質に影響を与える場合があります。

### 3 低温低湿・高温多湿の所や直射日光の当たる場所やホコリの多い所

- 変色や変形、また機器や音質に影響を与える恐れがあります。
- 本機が冷たい状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に水滴が生じ(結露)、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。

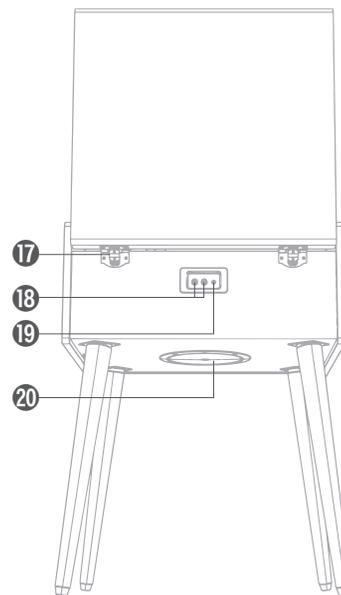
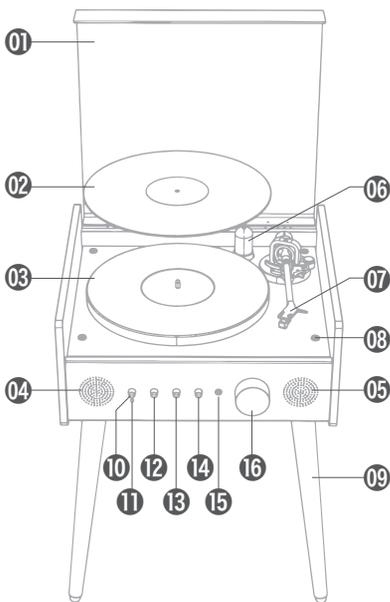
このような場合には暖かい室内に1時間ほど放置するか、徐々に室温を上げてからご使用してください。



結露

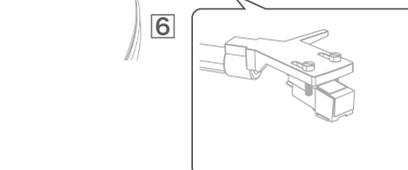
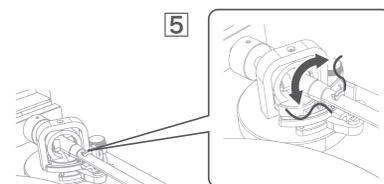
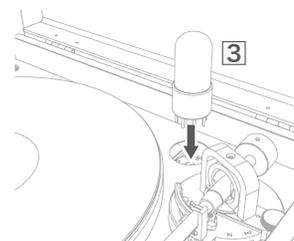
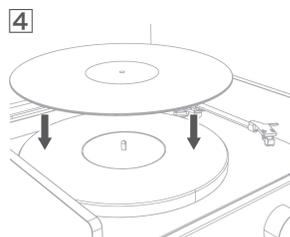
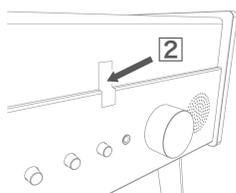
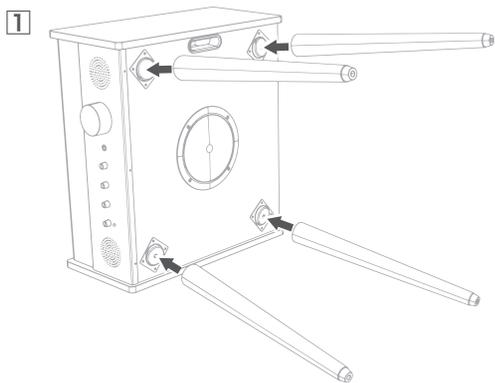
# 各部の名称

- |               |             |                                     |
|---------------|-------------|-------------------------------------|
| ① ダストカバー      | ⑨ ロングレッグ    | ⑮ ヘッドフォンジャック<br>標準サイズ6.35mm(1/4インチ) |
| ② ターンテーブルマット  | ⑩ 電源ボタン     | ⑯ 音量調節つまみ                           |
| ③ ターンテーブル     | ⑪ 電源表示ランプ   | ⑰ ダストカバージョイント                       |
| ④ スピーカー (左)-L | ⑫ プレイボタン    | ⑱ ラインアウトソケット                        |
| ⑤ スピーカー (右)-R | ⑬ モードボタン    | ⑲ 電源アダプターソケット                       |
| ⑥ 真空管         | ⑭ スピード切替ボタン | ⑳ ウーファースピーカー                        |
| ⑦ トーンアーム      |             |                                     |
| ⑧ サスペンションシステム |             |                                     |



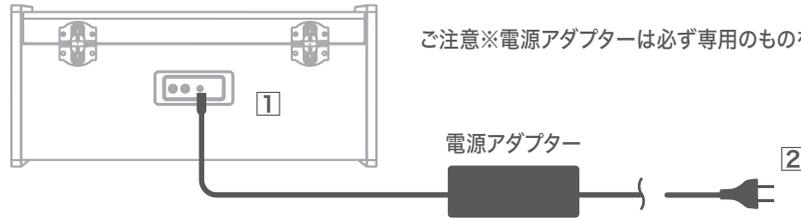
# 組立

- ① 本体を平らな場所に側面を下にして置き、本体底部にロングレッグ(またはスモールレッグ/デスクトップの場合)を取り付ける。その際ダストカバーが開かないように注意してください。
- ② 本体を天面を上にし、平らで安定した場所に置き、ダストカバー前面のテープを剥がす。
- ③ 真空管をソケットに差し込む。(ガラスの真空管を割らないように、やさしく差し込んでください。)
- ④ ターンテーブルマットをターンテーブルの上に置く。
- ⑤ トーンアームをアームレストに固定しているビニールタイをはずす。
- ⑥ カートリッジの針カバーをはずす。



# 電源の接続

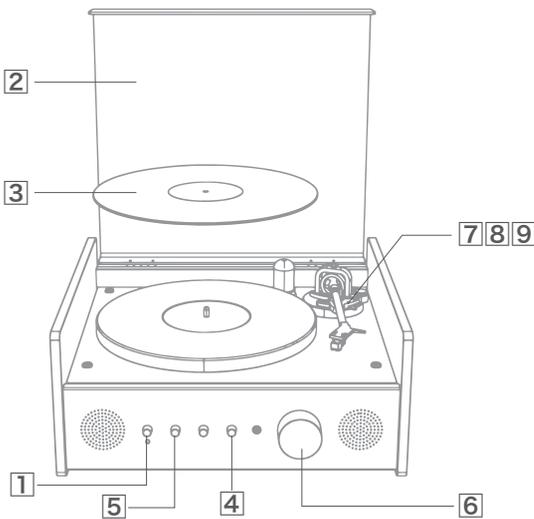
- 1 本体の電源アダプターソケットに電源アダプターの出力プラグを差し込む。
- 2 AC100Vコンセントに電源プラグを差し込む。



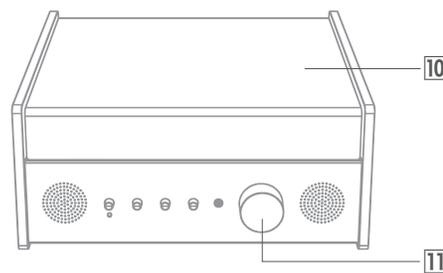
## 操作 1

### A レコードの再生 LPLレコード (30cm) および EPLレコード (17cm) の再生方法

- 1 電源ボタンを押し、真空管の点灯を確認する。  
ご注意 ※ 通電中の真空管は高温となります。絶対に触れないでください。
- 2 ダストカバーを開ける。
- 3 再生するレコードをターンテーブルに置く。  
EPLレコード (17cm) の場合は、レコードを置く前に市販のEPアダプターをスピンドル(中央の軸)にセットする。
- 4 再生するレコードに応じ、回転速度をSPEEDボタンで選択する。(45回転 または 33回転)
- 5 PLAYボタンを押して「VINYL」(レコード)の位置にする。  
( BLUETOOTH /  VINYL)
- 6 ステレオアンプの音量を一旦最小にする。
- 7 リフターが上がっていることを確認する。
- 8 トーンアームをアームレスト(アームの可動部を固定する留め具)から外し、針位置をレコード盤の任意の位置まで移動させる。
- 9 リフターのレバーをゆっくりと下ろし、盤面に針が下りたことを確認する。
- 10 レコードが再生されたら、ダストカバーをゆっくり閉じる。
- 11 音量調節つまみを回し適切な音量に調整する。



- 1 電源ボタン
- 2, 10 ダストカバー
- 3 ターンテーブルマット
- 4 SPEEDボタン
- 5 PLAYボタン ( BLUETOOTH /  VINYL)  
(レコード)
- 7, 8 リフター
- 6, 11 音量調節つまみ

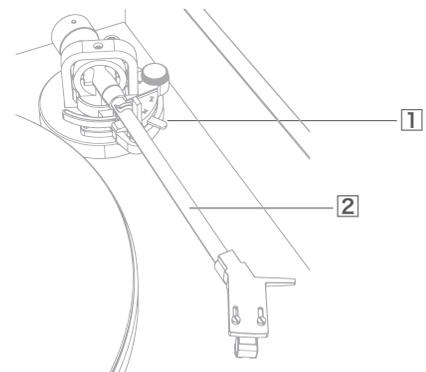


### B レコードの再生を終了する

- 1 リフターを使用して、トーンアームを持ち上げる。
- 2 トーンアームをアームレストに戻す。

ご注意 ※故障や、針やレコードを傷める原因となります。

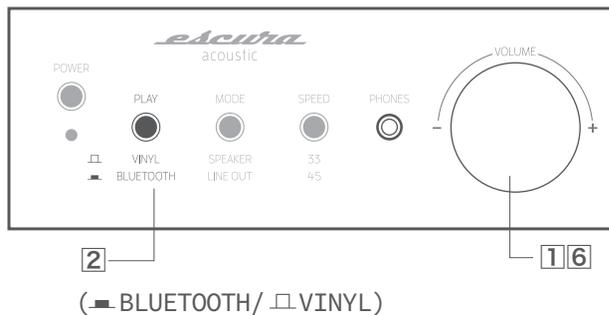
- 手で、ターンテーブルの回転を止めたり、回したりしないでください。
- トーンアームが自動演奏動作するのを手で止めないでください。
- トーンアームを固定せずに本機を動かしたり振動させないでください。
- ソノシートや反ったレコードは使用しないでください。
- レコードを汚したり損傷させないように、取り扱いにご注意ください。



# 操作 2

## A Bluetoothでの再生

- 1 ステレオアンプの音量を一旦最小にする。
- 2 PLAYボタンを押して「BLUETOOTH」の位置にする。(■ BLUETOOTH/ □ VINYL)
- 3 デバイスのBluetooth接続をオンにする。
- 4 デザイスの設定画面で表示された「sensation50」を選択する。
- 5 デバイスのアプリで音楽などを再生する。
- 6 音量調節つまみを回し適切な音量に調整する。



## B Bluetoothでの再生を停止する

- 1 デバイスで再生している音楽などを停止する。

1 6 音量調節つまみ

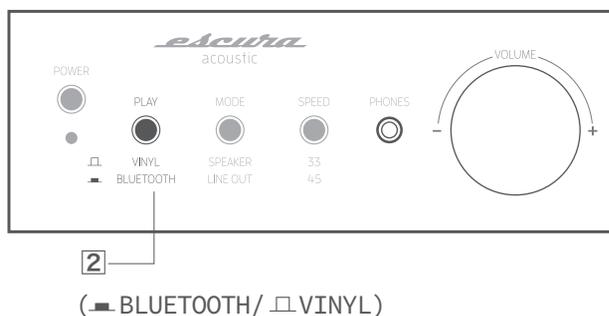
2 PLAYボタン

## デバイスとのBluetooth接続について

- ・ デバイスとBluetooth機器の接続設定をすることを「ペアリング」といいます。
- ・ ペアリングするときには、両方の機器を1m以内の距離に置いてペアリング設定を行ってください。
- ・ 本製品は同時に1台のデバイスでのみ音楽再生ができます。

### ● デバイスとの初めての接続

- 1 ペアリングしたいデバイスの電源を入れる。  
機種によって異なるが、設定画面からBluetoothをオンにすることで接続したい機器を探すことができる。
- 2 本機のPLAYボタンを押して「BLUETOOTH」の位置にする。(■ BLUETOOTH/ □ VINYL)
- 3 接続するデバイスのBluetooth設定で「デバイス」や「使用可能機器」といった項目内に、周辺でペアリングモードになっている相手の機器名や型番が表示される。  
表示された「sensation50」を選択しペアリングを開始する。  
※ペアリング接続・設定方法は、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- 4 接続が成功すると、信号音が鳴る。



### ● デバイスとの2回目以降の接続

- 1 一度ペアリングをしたデバイスは、2回目以降は自動的に接続されます。再接続されないときは、「Bluetooth機器との初めての接続」の手順に従って再度接続してください。

※接続するBluetooth機器によっては、自動的に接続されないことがあります。本機の故障ではありません。

### ● 別のデバイスとの接続

別のデバイスを本機に接続したいときは、現在接続されているデバイスの接続を解除してください。本機は一度に1台のデバイスしか接続できません。

- 1 接続していたデバイスのBluetooth設定をオフにする。  
・ 接続中のデバイスに表示されている、本機の製品名「sensation50」の接続を解除する。
- 2 別のデバイスで「デバイスとの初めての接続」を行なう。
- 3 接続できないときは、PLAYボタンを押して、いったん「VINYL」に戻してから、「BLUETOOTH」の位置にし、再度「デバイスとの初めての接続」を行なう。

(■ BLUETOOTH/ □ VINYL)

※デバイスの接続、切断操作につきましては、お手持ちのデバイスの取扱説明書もあわせてご確認ください。

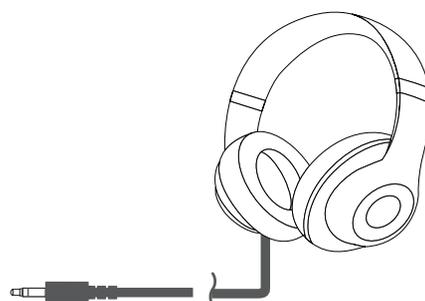
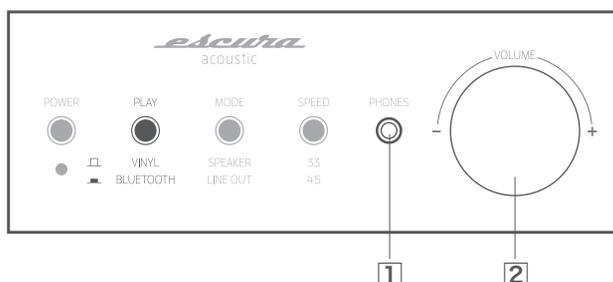
※Bluetooth ペアリング方法について、詳しくはデバイスの説明書をご参照下さい。

# ヘッドフォンについて

## ヘッドフォンを使用する場合

- 1 ヘッドフォンジャックに標準サイズ6.35mm(1/4インチ)のステレオヘッドフォンプラグを差し込むと、出力がヘッドフォンに切り替わる。
- 2 音量調節つまみを回し適切な音量に調整する。

※ヘッドフォンプラグが3.5mmステレオミニプラグの場合は、市販の3.5mm→6.35変換プラグ等をご使用ください。



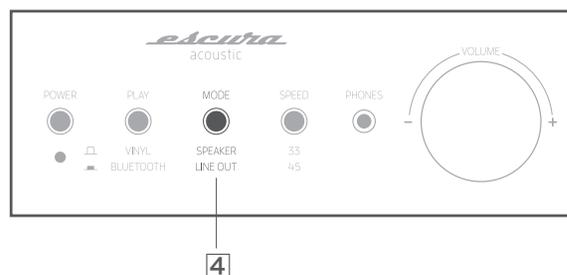
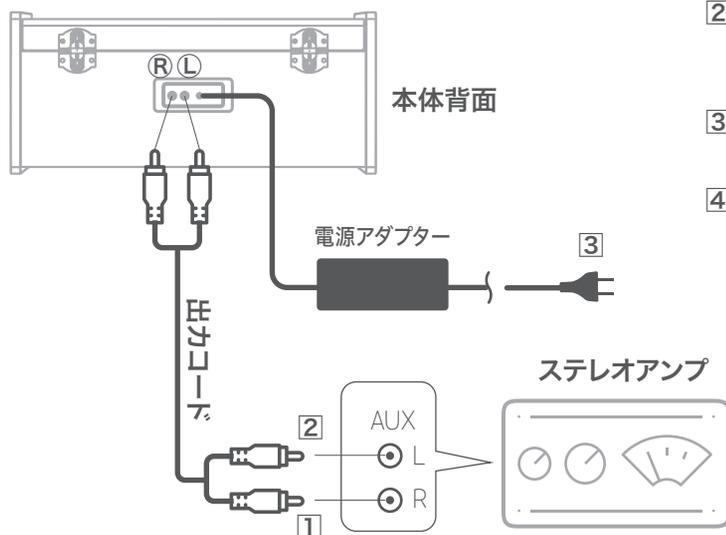
## 外部接続について

### 外部アンプに接続する場合

- このプレーヤーは、プリアンプを内蔵していますので、ステレオアンプのPHONO(フォノ)端子に接続すると、音がひずんで正常に再生できません。必ず入力端子(AUX、CD、TUNERなど)に接続してください。

- 機器の接続や変更を行う際には、必ず電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。

- 1 本体背面LINE OUT(R)にRCAピンケーブルの赤いプラグを接続し、外部接続アンプ等のAUX in( R )に接続する。
- 2 本体背面LINE OUT(L)にRCAピンケーブルの白いプラグを接続し、外部接続アンプ等のAUX in( L )に接続する。
- 3 電源アダプターの電源プラグをAC100Vコンセントに接続する。
- 4 本機のMODEボタンを押して「LINE OUT」の位置にする。(  LINE OUT /  SPEAKER )



## 真空管について 取り扱い上の注意

- 1 真空管はガラスできています。大きな衝撃などで割れることがありますので取り扱いには十分注意してください。
- 2 急激な温度変化で割れることがあります。真空管が熱いうちに急激に冷やしたり冷たいものを触れさせたりしないでください。
- 3 通電中、真空管は高温となります。火傷や感電の恐れがありますので、絶対に触れないでください。また小さなお子様のいる場所でのご使用は危険です。お控えください。

# メンテナンス

## ■ 針先の手入れ **A**

柔らかいブラシや筆などを使う。

ブラシを先端方向(手前)に動かし、ホコリやゴミを取り除いてください。このとき、ブラシはスタイラス(針先)チップのみに当たるようにしてください。また、直接指先で行うと、針先を破損する原因になります。

ブラシで落ちないときは

市販のスタイラス(針先)クリーナーなどを用いて汚れを落としてください。このとき、液を針先以外の部分につけないようご注意ください。

## ■ 針先の交換 **B**

針の寿命は一般的に150~500時間です。

針のタイプや使用条件によってはこれよりも短くなります。音が悪くなってきたと感じたり、針飛びが目立ってきたら針先の交換をお勧めします。

右図①②のように針ホルダーを手前に回転させるように押し下げて外します。

交換針は、プロテクターがついたまま後方の突起をカートリッジに下方向から差し込み、カチッと音がするまで押し上げます。寿命が過ぎたものや破損した針をそのまま使用すると、レコード盤を傷めたり、音がひずんだりします。早めに交換するように心がけてください。

交換針はAudio Technica ATN3600Lをご使用ください。

交換針の入手方法については、エスクーラ・サービスサポートまでお問い合わせください。他社の交換針をご使用になった場合の、性能劣化や故障については保証できませんのでご注意ください。

## ■ 真空管の交換

真空管の寿命は一般的に数千時間です。

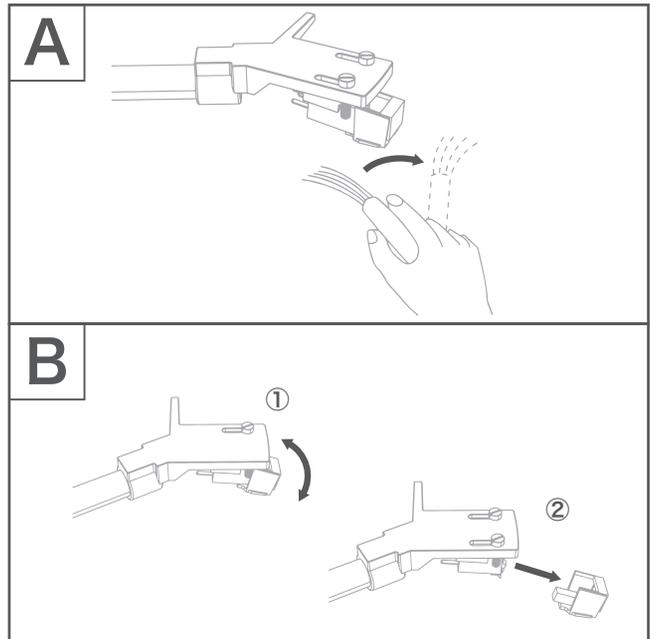
真空管が劣化すると、音質が低下したりノイズを発生することがあります。

定期的なメンテナンスをお勧めします。

交換用真空管は、6SN7 双三極管をご使用ください。

※交換時の注意点

- ①電源プラグを外す
- ②真空管の熱を完全に冷ましてから作業する
- ③真空管の抜き差しは真すぐに、力を抜いて、ゆっくり行う。



## 本体のお手入れについて

通常は、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れのひどい時は、3~5%に薄めた中性洗剤を浸した布で汚れを落とし、その後、水で浸した布で洗剤分をよく拭き取り次に乾いた布で軽く拭きよく乾燥させてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると塗装などが剥げたり変色の恐れがありますのでご注意ください。また、化学ぞうきん等をお使いの場合は化学ぞうきん等の注意事項をよくお読みください。

# 故障かな?と思ったら

- 修理を依頼される前に取扱説明書をよくお読みいただき、次の点をご確認ください。

症状	主な原因と対処方法
<b>ターンテーブル</b>	
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"><li>● 電源プラグがコンセントから抜けている場合があります。差し込みを確認してください。</li><li>● 本機の電源が入っていない場合があります。POWERボタンを押して電源を入れてください。</li></ul>
ターンテーブルが回転しない	<ul style="list-style-type: none"><li>● 電源プラグがコンセントから抜けている場合があります。差し込みを確認してください。</li><li>● BLUETOOTHモードになっている場合があります。PLAYボタンを押してVINYLに設定してください。</li></ul>
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"><li>● 音量が最小になっている場合があります。音量調節つまみで調整してください。</li><li>● 針先の取付が不完全な場合があります。針先の取り付けを確認してください。</li></ul>
トーンアームが動かない	<ul style="list-style-type: none"><li>● ご購入後は、トーンアームが固定されています。アームレストに固定しているビニールタイを外してください。</li></ul>
針先がレコードに下りない	<ul style="list-style-type: none"><li>● リフターが上がっています。レバーを使いリフターを下ろしてください。</li></ul>
レコードの音がおかしい	<ul style="list-style-type: none"><li>● 回転速度が合っていない場合があります。SPEEDボタンで回転速度を合わせてください。</li><li>● レコード盤に反りがある場合があります。レコード盤を交換してください。</li></ul>
雑音が入る	<ul style="list-style-type: none"><li>● レコード盤にホコリなどが付いている場合があります。レコード盤をクリーニングしてください。</li><li>● レコード盤にキズがある場合があります。レコード盤を交換してください。</li><li>● 針先にゴミやホコリが付いている場合があります。針先をクリーニングしてください。</li><li>● 針先が摩耗している場合があります。針先を交換してください。</li><li>● 出カコードのピンプラグやアンプの入力端子が汚れている場合があります。クリーニングしてください。</li><li>● アンプがPHONO入力端子に接続しています。AUX端子に接続してください。</li></ul>
ハウリングを起す	<ul style="list-style-type: none"><li>● 本機が不安定な場所に設置されています。安定した水平な場所に設置してください。</li><li>● スピーカーシステムの音圧が直接カートリッジに伝わっています。本機の設置場所を変えてみてください。</li><li>● 音量とが大きすぎます。音量を下げてください。</li></ul>
ハム音が出る	<ul style="list-style-type: none"><li>● アンプのパワートランスなどの磁束もれやテレビなどの影響を受けている可能性があります。アンプやテレビと本機の設置場所を変えてみてください。</li></ul>
<b>Bluetooth</b>	
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"><li>● デバイスと本機との距離が遠い可能性があります。両方の機器を1m以内に近づけてペアリングしてください。</li><li>● 無線LANや電子レンジ、無線機器などの影響を受けている可能性があります。影響しそうな機器の使用を中止してください。</li><li>● 正しくペアリングされていない可能性があります。もう1度ペアリングしてください。</li></ul>
ペアリングできない	<ul style="list-style-type: none"><li>● デバイスと本機との距離が遠いです可能性があります。両方の機器を1m以内に近づけてペアリングしてください。</li><li>● デバイス側の問題の可能性があります。充電状態やその他の状態をご確認ください。</li><li>● 先に別のデバイスが接続されている場合があります。別のデバイスとの接続を解除してください。</li></ul>
Bluetooth機能が動作しない	<ul style="list-style-type: none"><li>● 本機がBluetooth設定されていない可能性があります。PLAYボタンで設定してください。</li></ul>



長年ご使用のオーディオ製品に下記症状がないかご確認ください。

- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- 電源コードにさけめやひび割れがある。
- 電源が入ったり切れたりする。
- 本機から異常な熱や臭いがする。



すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のためお近くの電気店または当社サービス・サポートにご相談ください。保証期間外の点検・修理は有料となります。

## 免責事項 下記の事項につきましては当社は一切の責任を負い兼ねます

- 当社の責任によらない製品の損傷や破損または改造による故障や不具合
- 本製品によりもたらされた、直接的・間接的な効果及び利益の損失
- 本製品によって生じたデータの消失または損傷
- 本製品に使用によって生じたあらゆる結果、機器及びその他の不具合や損害
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害

## 保証とアフターサービス

### ■ 保証書

保証書は内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から1年間です。

保証期間でも有料となることがありますので、保証書をよくお読みください。また、次の消耗品は有料となります。

・真空管 ・レコード針 ・ターンテーブルドライブベルト

### ■ 補修用性能部品の保有期間

当社は補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後3年です。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ■ 修理に関するご質問・ご相談は

お買い上げの販売店または、エスクーラサービス・サポートをご利用ください。

### ■ 修理を依頼される時

もう一度本書をよくお読みいただき、ご確認の上、なお不具合が確認される場合は、必ず電源プラグを抜いてから修理をご依頼ください。

お求めの販売店にご連絡ください。

万一、故障が生じたときは保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。保証期間内であっても有料となることがありますので、保証書をよくお読みください。

ご連絡の際は、下記の内容をご用意ください。

- ご住所、お名前、電話番号、Eメールアドレス
- 製品名、型番、本体に記載されたシリアル番号
- ご購入店名、ご購入日
- 故障または不具合の内容

### 【ご相談窓口】

エスクーラ サービス・サポート

[https://escura.ideasjapan.com/form\\_AS/form.php](https://escura.ideasjapan.com/form_AS/form.php)



# 保証と修理について

この保証書は、本記載内容で無料修理を行うことお約束するものです。お買い上げの日から下記の期間内に取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で本体に故障や不具合が生じた場合は、下記の保証規定により所定の保証期間において無償にて修理もしくは交換いたします。

保証を受けるには、事前に症状を販売店にメールにてご相談の上、販売店もしくはサービス・サポートからの指示に従って修理をご依頼ください。

## 【保証規定】

- 保証の対象となる部分：本体（消耗品は除く）
- 保証の方法：修理や調整を行います。修理にあたり、部品は一部代替部品を使用させて頂く場合がございます。修理が困難な場合には同等品と交換させて頂く場合がございます。
- 保証を受けるための手続き：修理等を希望される場合は、必ず現品に保証書とご購入時のレシートやお買い上げ明細書を添えて本品を購入した販売店までご依頼ください。
- 修理に関わる運賃・諸掛り費用はお客様にてご負担願います。贈答品などでレシートが無い場合は、本書のお問い合わせ先までご連絡ください。
- 保証期間中でも次の場合は無償/有償を問わず、修理、返品、交換をお受けできませんのでご了承ください。
  1. 取扱説明書の注意事項をお守りいただけなかった原因による故障・損傷。また仕様の限度を超えた使用方法による故障・損傷。ご使用上の誤りや、修理・改造・分解をされた場合。
  2. 保証書の提示がない場合。
  3. 保証書にお買い上げ年月日のご記入がない場合。また字句を書き換えられた場合。
  4. 火災、水害、地震など天災地変による故障・損傷。
  5. ご購入後の輸送・移動・落下等による故障・損傷。
  6. 本体内部に水・液体が入った場合。
  7. ご使用中に生じる外観上の変化（本体のキズ・汚れ・色あせ・変形など）
  8. お買上げ商品が日本国外または海外通販、並行輸入品及び正規販売店以外から購入されたもの、中古販売品、オークションなどにおけるご購入品の場合。
  9. お客様のご都合によるものの場合。
- 本保証書は、日本国内でのみ有効です。  
The Guarantee is Valid only in Japan.
- 保証書は、再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 保証書は上記保証規定により無料修理または交換を保証するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害や逸失利益、本製品の故障や当社指定外の第三者による修理やその他の理由により生じた損害や逸失利益、本製品の使用から生じる障害・事故、撮影の不具合から生じる損害および逸失利益などに関し、ご購入者やご使用者又は第三者からのいかなる請求について、当社では一切その責任を負いかねますので予めご了承ください。

レシートは大切に保管してください。商品購入時に発行されるレシートが保証期間の証明となりますので保証申請の際には必ず本保証書とレシートを現品に添えてお申し出ください。  
通信販売でのご購入の場合は、納品書またはご注文日が記載されたメールのコピーをレシートの代わりとしてください。

保証書	
製品名	escura acoustic sensation50 真空管レコードプレーヤー
型番	シリアル番号
お客様	お名前 <span style="float: right;">電話番号</span>
	ご住所 〒
	email
保証期間	お買い上げ日より <b>本体1年間</b> （消耗品は除く）
ご購入日	年 月 日
ご購入店	

***esacuta***  
acoustic

**sensation50**  
真空管レコードプレーヤー

輸入元：有限会社PDW

〒211-0022 神奈川県川崎市中原区荻宿49-34-1F

販売元：合同会社アイディアス・ジャパン

〒154-0017 東京都世田谷区世田谷371 ルシード世田谷1F

2024年1月

# お客様へ

このたびはお買い上げいただきありがとうございます。

*esencia*

acoustic

sensation50

真空管レコードプレーヤー

## お詫びと訂正

取扱説明書に記述のある一部の内容について、記載漏れおよび誤記がありました。

2024年1月

お詫びして追記および訂正いたします。

また、製品は品質向上のため仕様等が変更される場合がございます。

詳しくは、ホームページにて最新情報をご確認ください。

### 訂正ページ：1（表紙）

#### 同梱物

正

本体.....	1台	カウンターウェイト..	1個
ACアダプター...	1本	スモールレッグ..	4個
真空管 .....	1本	ロングレッグ....	4本
レコード針.....	1本	取扱説明書/保証書・	1冊

#### 同梱物

誤

本体.....	1台	スモールレッグ..	4個
ACアダプター...	1本	ロングレッグ....	4本
真空管 .....	1本	取扱説明書/保証書・	1枚
レコード針.....	1本		

### 訂正ページ：4 組立

訂正 ⑤ トーンアームをアームレストに固定しているアームロックをはずす。

ご注意：アームロックを外さずにトーンアームを動かしたり、リフターを操作するとリフターやトーンアームが破損する場合があります。

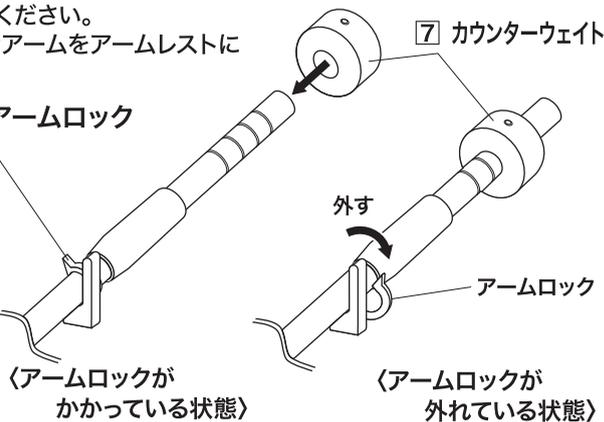
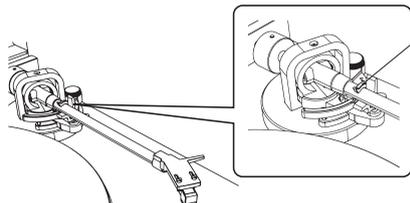
追記 ⑦ 付属のカウンターウェイトをトーンアームへ差し込む。

カウンターウェイトは、トーンアームの4本の切れ込み線のうち、外側から2本目の位置に合わせてからレコードと針の状態に合わせて位置を調整してください。

カウンターウェイトをはずすときは必ずトーンアームをアームレストに乗せた状態で行ってください。

ご使用前に必ずアームロックを外してください

⑤ アームロック



### 訂正ページ：5 操作1

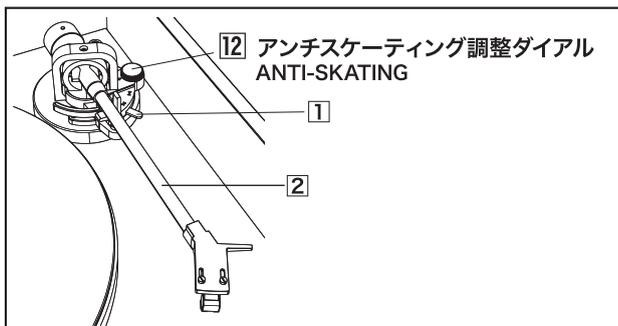
#### A レコードの再生

訂正 ⑧ 必ずアームロックが外れていることを確認し、トーンアーム先端の針位置をアームレスト位置からレコード盤の任意の位置まで移動させる。

追記 ⑫ レコードの再生中、針先が内側へ引っ張られる症状が出たときは、アンチスケーティング調整ダイヤルを回して調整してください。

#### B レコードの再生を終了する（図の訂正と追記）

正



誤

